

文化遺産総合活用推進事業 実施報告

1 都道府県・市区町村名	群馬県 藤岡市	2 補助事業の種類	世界文化遺産活性化
3 実施計画の名称	藤岡市まちづくりシンポジウム		
4 実施計画期間	平成 29 年度 ～ 平成 31 年度		
5 過去の補助事業実績			
平成 2 3 年度文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業			—
平成 2 4 年度文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業			—
平成 2 5 年度文化遺産を活かした地域活性化事業			千円
平成 2 6 年度文化遺産を活かした地域活性化事業			千円
平成 2 7 年度文化遺産を活かした地域活性化事業			千円
平成 2 8 年度文化遺産を活かした地域活性化事業			千円
6 計画の実施状況（概要）			
※平成29年度までに実施した計画の実施状況を記載してください。			
<p>「高山社跡を活かした藤岡市のまちづくり」についてということをテーマに2回のワークショップを実施し、市民の方に観光や教育などのような面を重視してまちづくりを行えば藤岡市が元気づくのか意見交換をしていただいた。また、高山社顕彰会のフェイスブックをとおして、ワークショップの様子を発信した。</p>			
7 定量的な目標に対する計画の進捗状況			別紙①②のとおり
※平成29年度までの進捗状況について、実施計画で設定した指標に基づき、状況値と目標に対する達成率を記載してください。（指標・目標値を複数設定している場合は、全て記載）。			
8 効果等の検証・分析結果			
※上記7の進捗に対する検証・分析結果を記載し、併せて定性的な効果を具体的に記載してください。			
<p>フリートーキングとワークショップを実施し、普及啓発という意味では参加者に対しある程度理解して頂ける結果を得られたが、情報発信としては数値として0%であった。このことから、「高山社跡の見学者がフェイスブックを利用する年齢層か」が大いに疑問が残る結果となった。前提条件としてフェイスブック以外も含めた「低廉」且つ「多数に向けた」情報発信の仕方が、現実面で効果を出す上で重要な要素であることが、改めて認識することとなった。</p>			

7 定量的な目標に対する計画の進捗状況 別紙

具体的な指標 1 :	まちづくりシンポジウムにおいてアンケートを実施し、理解が深まった者の割合				関連事業:	事業①、②	
目標値 1 :	平成 29 年度		0 %		⇒	平成 31 年度 80 %	
進捗状況 1 :	各年度、状況値、目標に対する達成率						
平成 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度		
%	0 %	41 %	%	%	%		
	0%	51%					

